

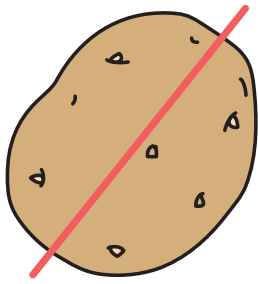
チャレンジ！
野菜づくり
ジャガイモは良い種芋を準備して、
適期植え付け

板木技術士事務所 板木 利隆

梅の花が咲き終わり、土のぬくもりが感じられる頃になると、ジャガイモの植えどきです。あまり植え付けを急ぐと、地温不足のため芽が伸びてきません。また、植え遅れると、生育の後半期が高温になってしまい、芋の肥大の適温日数が足りず、後期には病害が多発して収穫が十分に上がりません。

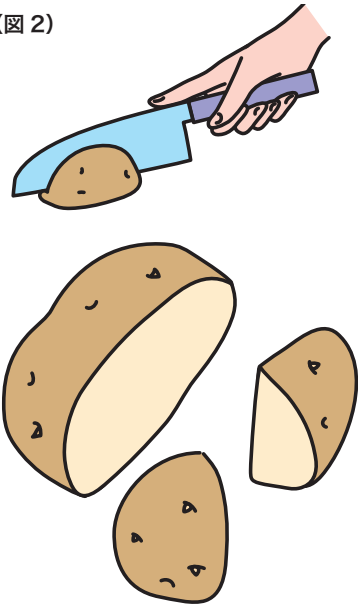
種芋を選ぶ上で重要なのは、ウイルス病やその他の病害虫に侵されていない、検査に合格した、種子用として市販されている物を選択

(図1)



左右で芽が均一になるように縦に切る

(図2)



70~80gくらいの大きさなら2個に切り、さらに大きい場合は3~4個に切る

ぶことです。休眠から目覚め、程よく芽が伸び始めた物を準備しましょう。

種芋の準備で大切なことは、大きい物は各片に芽が均等に付くように、縦に切り割り(図1)、1片を25~30gにしておきます(図2)。畑に植え付けるに当たっては、芋の切り口を下方に向けるように植え付けます。切って2~3日置き、断面を乾かして植えるのが良いといわれていますが、良い種芋ならすぐに植えても差し支えないでしょう。

ジャガイモの品種は、長年の代表品種の「男爵薯」「メークイン」などだけでなく、各種の用途に向く個性派の新しい品種がお目見えしてきました。例えば「キタアカリ」(粉質、煮上がり早く、レンジ調理にも向く)、「キタムラサキ」(皮、果肉共に紫、煮崩れが

少ない)、「インカのめざめ」(濃厚で独特な風味、煮物、チップ、フライ、レンジ調理にも向く)、アンデス赤(粉質、良食味でサラダに向く)、β-カロテン含量が多い)、「十勝こがね」(煮物、フライ、加工調理にも向く、貯蔵性が高い)などです。「花標津」「レッドムーン」「ワセシロ」「ベニアカリ」「マチルダ」など、花色や花形を楽しめる品種もあります。

これらの新しい品種の種芋は、出回りが少ないので、早めにJAや種苗会社にお問い合わせください。

ジャガイモは低温でもよく育ち、わずかに3カ月余りで種芋の15倍も収穫できるので、早くから子芋をたくさん付けます。これらは早掘り(探り掘り)して、新鮮な春の味を十分楽しみましょう。

生産資材のご紹介

春夏野菜にピッタリ！
家庭菜園に便利な

黒マルチ

各30本限り

特別価格でご提供

農業用資材の黒マルチは、主に雑草を抑制するために使用します。黒マルチには、太陽の日差しを吸収し地温を安定させる効果もあり、春先など地温が低い時期には保温に、夏には急激な地温上昇を抑えるのに役立ちます。

他にも、土の跳ね上がり防止する効果や乾燥を防ぐ保湿効果があります。

今回は、家庭菜園の作業に便利な100m巻を特別価格で販売しますので、ぜひこの機会にご購入ください。

特別価格対象商品

● 0.02mm x 135cm x 100m

1,300円(税込)

通常: 1,580円(税込)

● 0.02mm x 150cm x 100m

1,450円(税込)

通常: 1,760円(税込)

※在庫が無くなり次第、通常価格となりますのでご了承ください